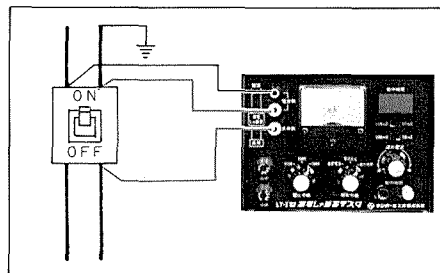
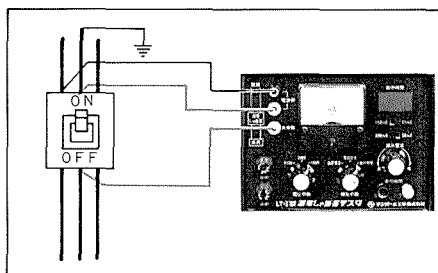


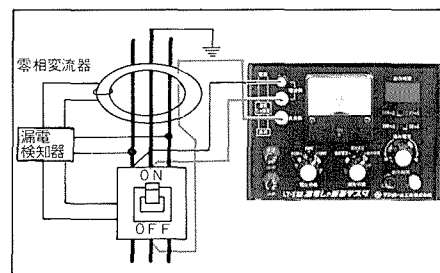
テストの結線方法



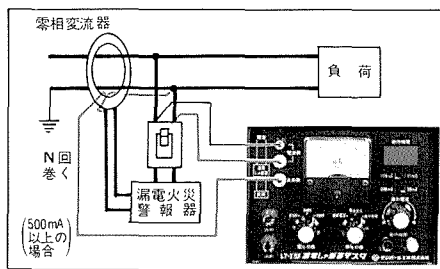
＜2P・2E漏電しゃ断器の感度電流・動作時間の測定＞



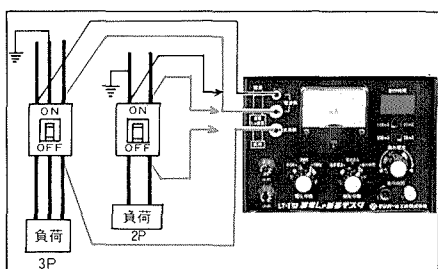
＜3P・3E漏電しゃ断器の感度電流・動作時間の測定＞



＜別置形漏電しゃ断器の感度電流・動作時間の測定＞



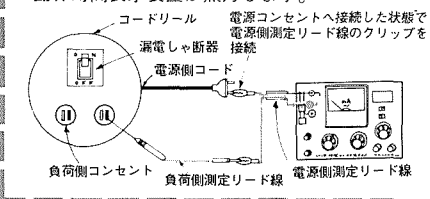
＜漏電火災警報器・漏電リレーの感度電流測定＞
漏電しゃ断器の感度電流測定と同じ方法で測定してください。500mA以上の感度電流測定は、感度電流切替スイッチを“500mA”にして、負荷側測定リード線を零相変流器にN回巻いてください。テストの電流計の最大値はN×500mAになります。



＜漏れ電流の測定＞
(注)①必ず漏電しゃ断器を“OFF”にしてください。
②「電源側測定端子」の④極及び「負荷側測定端子」は、漏電しゃ断器の接地側端子以外の端子に接続するように注意してください。
③機能切替スイッチは“感度電流”にセットしてください。

注意

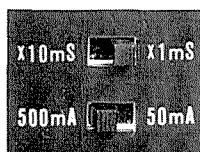
コードリール等に組み込まれた漏電しゃ断器で、電源側と負荷側の極のつながりが同一極か異極が不明の場合は、図のように結線して同一極を探してください。
(テストの電圧及び機能切替スイッチ“動作時間”の位置)のセットに注意してください。
異極の場合、漏電しゃ断器がしゃ断するかテストの動作時間表示装置が点灯します。



感度電流の測定



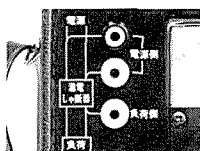
「電圧切替スイッチ」を、漏電しゃ断器の使用電圧にセットしてください。セットを間違えますと電源ヒューズ(0.1A)が切れます。



「感度電流切替スイッチ」は、漏電しゃ断器の定格感度電流が、50mA以下の場合は“50mA”に50mAをこえ、500mA以下の場合は“500mA”にセットします。



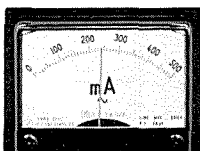
「機能切替スイッチ」を“感度電流”にセットし、「漏れ電流ツマミ」を“減”にします。



「電源側測定リード線」はテストの“電源側”端子に、「負荷側測定リード線」はテストの“負荷側”端子に接続します。測定リード線を漏電しゃ断器に結線する場合、負荷側測定リード線の接続は、必ず“電源側”端子の④極と同極になるように注意してください。異極に接続すると電流側ヒューズ(3A)が切れます。



“ON”にした漏電しゃ断器の負荷側に、「負荷側測定リード線」を押しあて、電流計の値に注意しながら「漏れ電流ツマミ」を“減”から徐々に“増”に回します。

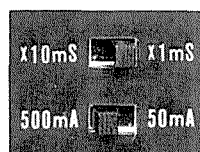


漏電しゃ断器がしゃ断したときの電流値を読みます。再度しゃ断電流値を確認したい場合には「機能切替スイッチ」を“電流設定”にセットしてください。

動作時間の測定



「機能切替スイッチ」を“電流設定”にセットします。



漏電しゃ断器の定格動作時間が1秒までの場合は“×1ms”に、1秒以上10秒までの場合は“×10ms”に「動作時間切替スイッチ」をセットします。



「漏れ電流ツマミ」を回して電流計が漏電しゃ断器の定格感度電流を指示するようにセットします。



「機能切替スイッチ」を“動作時間”にセットします。



「リセットボタン」を押して、動作時間表示を“0”にし、“ON”にした漏電しゃ断器の負荷側に負荷側測定リード線を押しあて、「スタートボタン」を押します。



「動作時間表示装置」に表示された数値が動作時間です。